

ゆのまえ 議会だより



No. **54**

令和8年
5月1日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

読む議会から見る議会へ



- P2 **特集1** 議会だよりの歩みを次の形へ
- P3 **特集2** 住宅政策の提言に町が回答
- P4 **特集3** 暮らしを支えるインフラ整備を要望
- P5 **本会議** 過去最大級の予算成立
- P11 **一般質問** 2人が執行部の考えを質す
- P14 **議員派遣** 人口減少に適應するまちへ
- P16 **委員会** 町内208棟の空き家
- P18 **議会の窓** 一般質問のYouTube視聴ランキング
- P19 **一部事務組合** 近隣自治体と支え合う「広域行政」の予算
- P20 **住民の声** 身近で読みやすい議会だよりにするには？

今号のイラスト

議会だよりで積み重ねてきた広報活動をさらに広げるため、湯前町議会広報常任委員会がショート動画配信を始めました。議会の動きや話し合いの内容を、より分かりやすく、より身近に伝えるための新たな挑戦です。

特集(2ページ)につづく・・・

特集 1

議会だよりの歩みを次の形へ 広報委員会がショート動画配信を開始

湯前町議会広報常任委員会は、議会だよりで積み重ねてきた広報活動に加え、新たな取り組みとしてショート動画の配信を始めました。広報研修で学んだ「分かりやすく、伝わる広報」の考え方を町議会でも形にしようと協議を重ね、まずは短く見やすい動画から実践します。議会をもっと身近に感じてもらえるよう、紙面と動画の両面から伝える取り組みを進めていきます。



初回配信のサムネイル



動画はこちら

※ **解説動画** は
17ページ
(委員会)を参照



動画配信に向けた会議風景

動画配信のポイント整理

項目	内容
取り組みの趣旨	議会をもっと分かりやすく、もっと身近に伝えるため、議会だよりに加えてショート動画配信を始める。
動画配信の目的	議会の透明性向上と理解促進を図るための広報媒体。意思決定や評価を行うものではなく、公式記録に代わるものでもない。
基本の動画形式	60～90秒程度、字幕ありを基本とする。
動画で伝える内容	①今後の会議予定、②いま議会で話していること、③少し難しい言葉の解説などを短く分かりやすく届ける。
進め方	まずは小さく始め、視聴状況や改善点を確認しながら、台本づくりから撮影、字幕、確認、投稿までの流れを整理し、続けやすい形に整える。
住民との関わり	動画は一方通行ではなく、町民の意見を参考に改善していく。
今後の展開	定例会の見どころ予告、一般質問ダイジェスト、議会用語の1分解説、議会だよりに連動企画などへ展開する。

特集2

住宅政策の提言に町が回答 分譲地整備など方向性示される

「家を建てたいが土地がない」「すぐに住める住宅がない」・・・こうした声に応えるため、企画経済建設常任委員会は町に対し、住宅政策の見直しを提言しました。これに対し、町から回答がありました。

回答では、新しい分譲地の整備など前向きな方針が示されています。一方で、土地の価格設定や公営住宅の集約化などは、人口減少を見据えた慎重な検討が引き続き必要とされています。

町の「住まいの将来像」は今後どう進むのか——その具体的な内容をお伝えします。

住宅施策の回答内容

①分譲地の有効活用

- ・牧原分譲地(10区画)、上里分譲地(8区画)を整備
- ・住宅ニーズや事業者ヒアリングを踏まえ適正な区画面積を設定
- ・上里分譲地は単身者住宅(1棟3戸の2区画)やサテライトオフィス用地(1区画)も確保し、多様な活用を推進



②分譲地の早期販売と広報・販売戦略の強化

- ・上里:令和8年2月完成、令和8年度中に販売開始予定
- ・牧原:令和9年3月完成、令和9年度販売予定
- ・価格は造成費や移住定住施策、近隣相場などを考慮
- ・SNSや住宅情報サイトを活用し広報強化
- ・対象者の明確化や支援制度を含めた販売戦略を検討



③公営住宅の長期計画前倒し

- ・町営住宅160戸のうち約85%が耐用年数超過
- ・長寿命化計画に基づき用途廃止・建て替え・維持管理を整理
- ・将来的に108戸へ集約予定
- ・高齢者や既存入居者への配慮が必要
- ・当面は維持管理を行いながら段階的に集約化を検討



④住宅情報の一元化

- ・移住定住サイト「ゆのまえかじり」で情報発信
- ・分譲地、公営住宅、空き家情報を集約し、一覧化
- ・検索性、利便性の向上
- ・関係課の連携強化により最新情報を迅速に提供



特集 3

暮らしを支えるインフラ整備を要望 国に財政支援の充実を求める

道路や橋、水道などの老朽化が全国で課題となる中、湯前町議会は1月22日、東京都内で要望活動を行いました。

要 望 事 項	町道路面舗装及び橋梁の長寿命化修繕の促進
	老朽水道管の耐震化に係る財政支援の強化



金子国土交通大臣に要望書を提出

町議会は、国土交通省で金子恭之大臣に、また参議院議員会館で松村祥史参議院議員、馬場成志参議院議員に要望書を手渡し、本町の現状を伝えました。

現在、全国で道路や橋梁、上下水道の老朽化による事故が相次いでいます。日常生活に欠かせないインフラの長寿命化や耐震化は、私たちが安心して暮らし続けるための最優先課題です。

しかし、これらを町単独で整備するには限界があります。そのため町議会では、国の財政支援が不可欠であると考え、毎年、地元選出の国会議員へ直接要望を行っています。

今回の訪問では、本町の深刻な現状を説明するとともに、インフラ整備に対する国の考え方を確認し、支援のさらなる充実を求めました。



松村参議院議員に要望書を提出



馬場参議院議員の秘書に要望書を提出

過去最大級の 予算成立

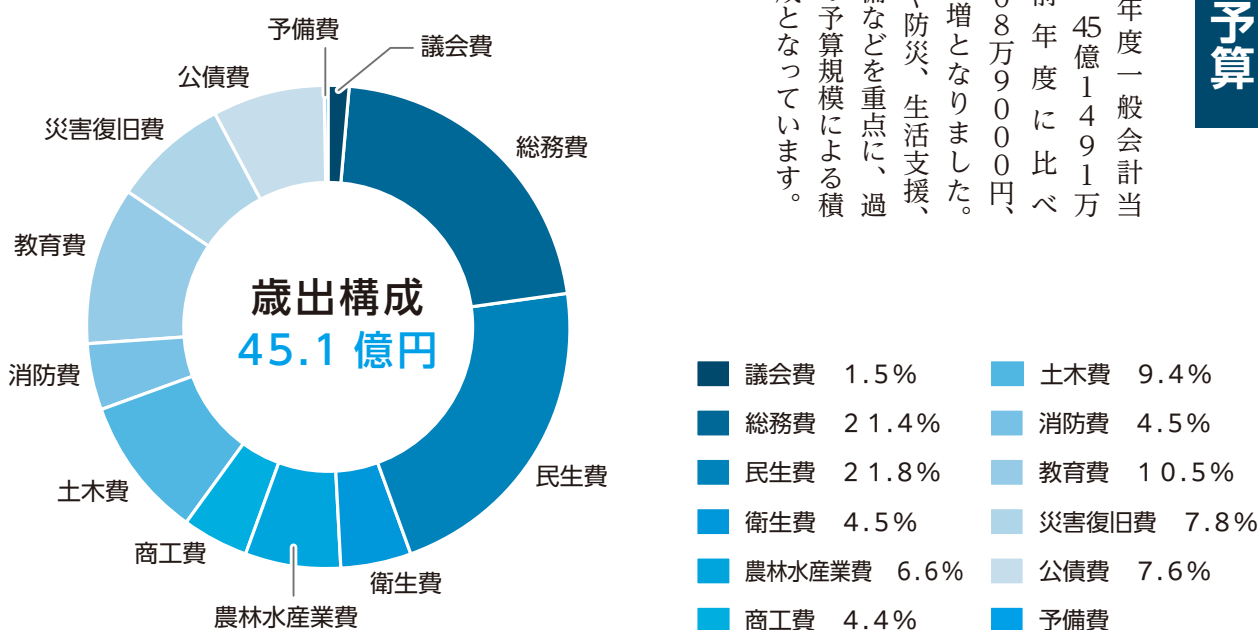
暮らしを守り、災害に 強いまちづくりを加速

3月定例会は、6日から13日まで8日間の日程で開かれました。議員2人が一般質問を行い、令和8年度当初予算や令和7年度補正予算、条例改正などを審議しました。1月20日と2月5日には、臨時会を開いています。

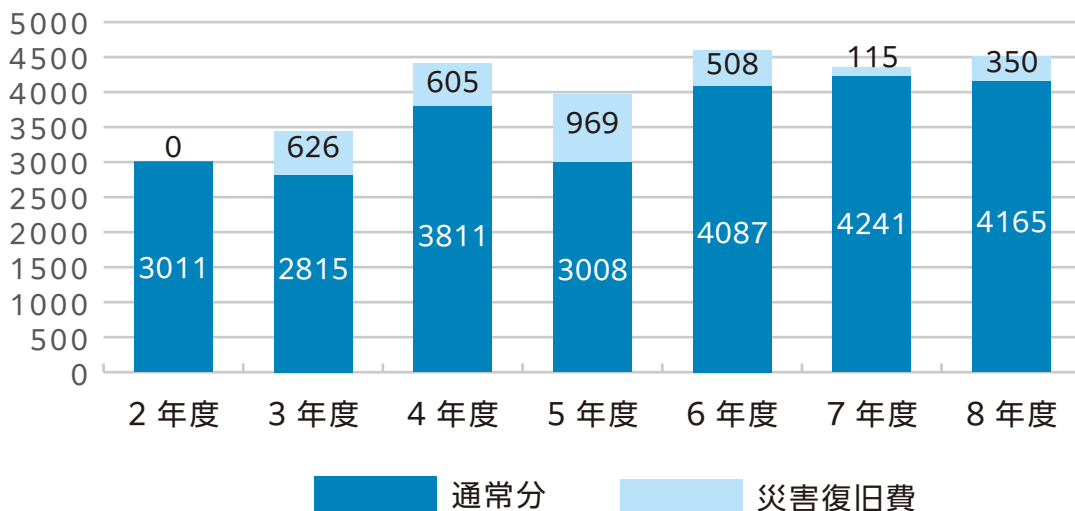
当初予算

令和8年度一般会計当初予算は、45億1491万円、前年度に比べ1億5908万9000円、3.7%の増となりました。災害復旧や防災、生活支援、住環境整備などを重点に、過去最大級の予算規模による積極的な編成となっています。

令和8年度一般会計歳出(目的別)



一般会計予算の推移 単位：百万円



物価高騰対策関連事業

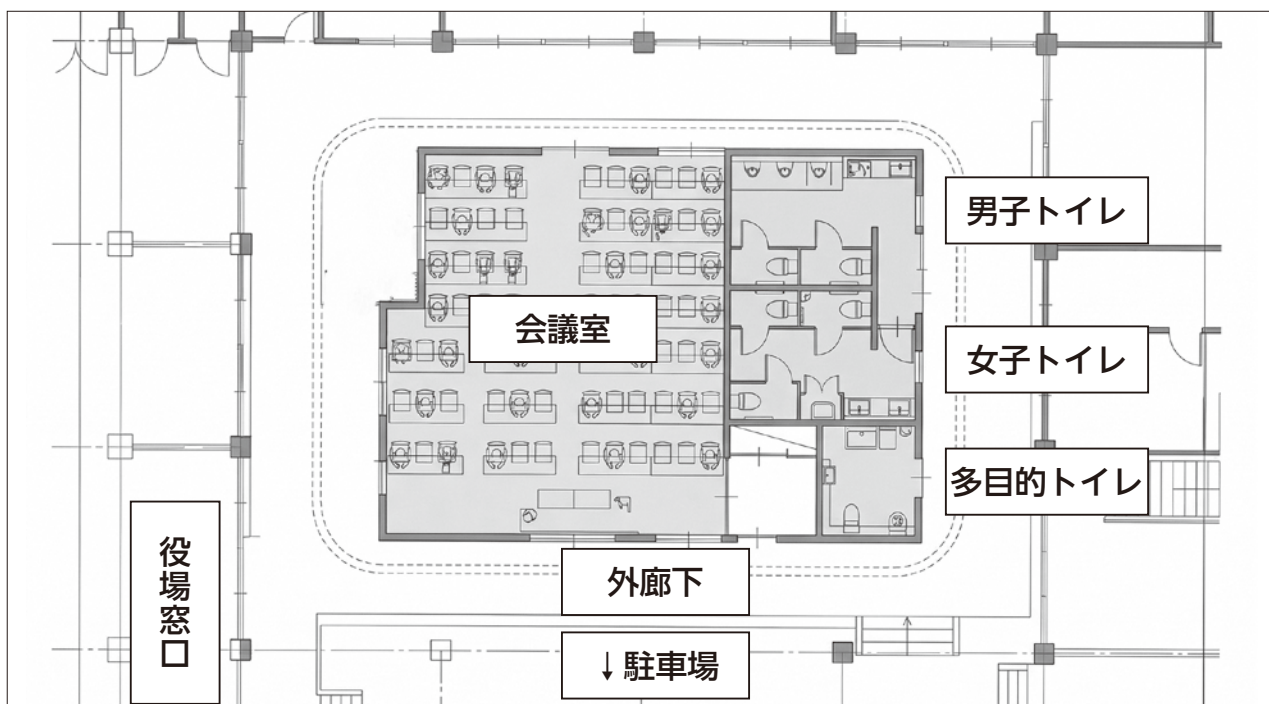
町民生活と地域経済を支える支援策

生活支援(4事業)

事業名	予算額	内容
物価高騰対応生活者応援 給付金(※実施済み)	1725万3000円	町民1人当たり現金5000円を給付。 対象は3360人見込み。
くらし応援券事業	5371万6000円	町民1人当たり商品券15000円を 給付。
湯前町LPガス価格高騰対応 生活者支援事業	276万円	LPガス使用世帯に対し、料金の一部 3000円を補助。県補助2分の1を 活用。
省エネ家電買換促進事業	252万5000円	省エネ性能の高い家電への買換えを支援。 (補助率1/3 上限5万円)
生活支援小計	7625万4000円	

事業支援(5事業)

事業名	予算額	内容
物価高騰対応商工業振興事業	1500万円	町内事業者の販路拡大や生産性向上を 支援。 (補助率3/4、上限100万円)
飼料高騰対策支援事業	691万5000円	飼料価格高騰の影響を受けている畜産 事業者を支援。
球磨畜産物消費拡大支援事業	210万円	学校給食への球磨産和牛、乳製品の提 供と、くまがわ鉄道全線開通イベント に合わせた畜産物PR活動を支援。
地域公共交通事業者燃料価格 高騰対策支援金(※実施済み)	37万円	くまがわ鉄道(株)に対して10市町村 が連携して支援。
物価高騰対応入浴券事業	960万円	町民1人当たり湯楽里の入浴券5枚を 配布。
事業支援小計	3398万5000円	



庁舎多目的トイレと災害対策室のイメージ図

災害対応力の強化 防災拠点等整備工事

7100万円

災害時の司令本部となる災害対策室を役場庁舎中庭に整備し、多目的トイレもあわせて新設します。防災倉庫や備蓄倉庫では、機材や食品の保管環境を改善するため、換気や遮熱の対策を実施します。さらに、災害対策室にはビデオ会議システム(当初予算…備品購入費309万円)を導入し、災害時の情報共有体制の強化を図ります。

財源は、全額「緊急防災・減災事業債」を活用し、その7割が国から補填(交付税措置)されます。

**避難所用・災害対策用
備品購入費
1588万8000円**

災害時の避難環境の改善と現場対応力の向上を図るため、簡易ベッドや投光器のほか、空調服、ミストファン、テント、テーブル、椅子などを整備します。避難生活の負担軽減と、水防活動時の安全

確保につなげます。

財源には、球磨川水系防災・減災ソフト対策交付金を活用し、事業費の3分の2が補助されます。

まちPRの継続 龍谷大学ロゴ広告料

144万円

町のPR活動の一環として、龍谷大学女子柔道部との

ロゴ広告契約を継続します。令和8年度からは、広告料の中にロゴワッペンの作成も含め、取り組みの充実を図ります。また、今年2月の湯前合宿のあと、女子柔道部1年の森近選手が国際大会で銀メダルを獲得しました。このように所属選手が国内外で活躍し、町の認知度向上にもつながっています。



龍谷大学女子柔道部との交流会



指定管理による運営が始まるサテライトオフィス(左)とレールウイング複合施設(右)

2施設の指定管理

サテライトオフィス指定管理料 250万円
湯前駅レールウイング指定管理料 480万円

令和8年度から新たに稼働する「サテライトオフィス」と、町の玄関口である「湯前駅レールウイング複合施設」の指定管理料を計上しました。

指定期間は、令和8年4月1日から3年間で、両施設の運営は「(株)日本の端から日本を元気に」が一体となって担当予定です。

サテライトオフィスでの企業誘致や、レールウイングでのにぎわいづくりを連動させることで、施設の価値向上と地域活性化の相乗効果が期待されます。

若い世代の支援

ライフデザイン・結婚支援重点推進事業委託料 150万円

若い世代が将来の暮らしや人生設計を考える機会として、ライフデザイン講座を開催します。結婚支援の強化にもつなげることを目的とした新規事業で、地域少子化対策重点推進事業補助金を活用して実施します。

公共交通支援事業

くま川鉄道利用促進補助金 320万円

令和2年7月豪雨で被災したくま川鉄道は、令和8年上半期の全線開通を予定しています。全線開通後は、鉄道事業再構築実施計画に基づき、上下分離方式による運営が始まることから、町も事務的経費や維持管理費を負担することになります。こうした中、町は全線開通後の利用促進に向け、実際に鉄道に乗ってもらいながら、利便性を再確認してもらう取り組みを進めます。

移動支援の拡充

高齢者等移動支援助成金 722万円

令和8年度からは、タクシー券1枚当たりの助成額をこれまでの500円から700円に引き上げ、高齢者などの移動負担の軽減を図ります。当助成金は、町単独事業として実施しているもので、買い物や通院など日常の移動を支える支援の充実につなげます。



橋梁復旧が進み全線開通へ



保存修理に着手する城泉寺九重石塔と阿弥陀堂

保存修理に着手

城泉寺阿弥陀堂屋根修理工事申請費 **7760万円**

7760万円

城泉寺九重石塔修理工事申請費 **1080万円**
城泉寺屋根・九重石塔修理設計監理委託料 **1460万円**

文化財保護事業として、城泉寺本堂と九重石塔の改修に着手します。令和8年度から9年度までの2カ年で実施する予定で、屋根や石塔の修理工事、設計監理、発掘調査などを進めます。

財源には、教育費国庫補助金

6736万3000円(65%)、県補助金518万1000円(5%)を活用します。

経営安定化に向けて
湯楽里経営安定化支援補助金 **288万8000円**

コロナ禍で経営安定化のために借り入れた運転資金の返済を支援するものです。ゆのまえ温泉湯楽里では、コロナ禍以降も厳しい経営状況が続いていることから、町が償還金の一部を補填し、経営の安定化を後押しします。

地域資源を生かした観光拠点づくりへ
ゆのまえグリーンパレス再整備基本計画委託料 **300万円**

湯楽里周辺の再整備に向けた基本計画を策定します。グリーンパレス公園と湯楽里施設に加え、潮神社、潮ため池とその周辺、B&G海洋センター、町民グラウンドなどを含め、地域全体を魅力ある観光施設として一体的に整備するための基本的な方針をまとめるものです。今後の具体的なアクションプランにつなげ、地域資源を生かしたにぎわいづくりを目指します。

若者定住と宅地供給を進める
牧原地区分譲地造成工事 **5700万円**
一般住宅上里団地1号棟建設工事 **6100万円**

住宅整備事業として、牧原分譲地で10区画を整備し、移住・定住の受け皿づくりにつなげます。また、上里分譲地では、令和7年度に8区画を整備し、うち1区画にサテライトオフィスが建設されました。令和8年度は、残り7区画のうち1区画に、1棟3戸の若者定住住宅の建設に取り組み、若い世代の定住促進を図ります。

GIGA端末を更新 学習環境を整備
小学校一般備品購入費 **895万8000円**
中学校一般備品購入費 **684万4000円**

公立学校情報機器整備事業として、更新時期を迎えたGIGAスクール第1期整備端末の入れ替えを行います。小学校では児童・指導者用、中学校では生徒・指導者用のタブレット端末を整備し、学校のICT環境を引き続き支えていくものです。学習活動や授業運営に必要な情報機器を更新し、教育の情報化に対応した環境づくりを進めます。



造成工事が進む分譲地

小学校	児童・指導者用 タブレット	購入台数	151台
中学校	生徒・指導者用 タブレット		118台
県補助金合計			883万6000円

条例改正

湯前町サテライトオフィスの設置及び管理に関する条例の制定

企業誘致の促進により、地域振興、移住定住の促進、関係人口・交流人口の創出を図るため、「湯前町サテライトオフィス」の設置及び管理に関する条例」を制定しました。施設は上里分譲地に整備されたもので、個室、フリースペース、会議室などを備えています。

使用許可や利用制限、利用料金、指定管理者による管理などを定め、施設の機能を最大限に活かした地域活性化を図ります。指定管理者が管理する場合は、利用料金を指定管理者の収入とすることができるとの内容です。

利用料金体系

条例に制定された範囲内で料金設定を想定。実際の料金は、事前に町長の承認を受けたくうえで定める。

区分	利用料金（税込）	備考
個室 月額定期利用	2万9700円/月	登記住所利用、郵便物受け取り費用含む
フリースペース 月額定期利用	8800円/月	
フリースペース（一時利用）	200円/時間	水道光熱費含む。1時間未満の端数がある場合は、1時間として計算
大会議室	1000円/時間	
小会議室	500円/時間	

湯前町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正

人材や担い手の不足が想定されることから、任期の定めがある職員や専門的知見を持つ職員なども、公益的法人などへ派遣できるよう条例を改正しました。地域課題に対応するための人材確保の幅を広げます。

湯前町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

昨年12月議会で、「乳児等通園支援事業の設備や運営に関する基準条例」を可決し、令和8年度からの実施に向けた制度の土台を整えました。

今回はそれに続き、給付事業を行う事業者の運営基準を定める条例を制定したものです。対象は町内の保育園や認定こども園で、利用定員、支払い方法、相談対応、緊急時の対応、記録の管理、虐待防止など、適切な事業運営に必要な基準を定めています。

その他の議案

工事請負契約の締結 R2災補林林道宮の谷線(3号箇所)災害復旧工事(1工区)

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は9108万円、契約の相手方は「(有)ふじもと」です。

議案審議の賛否一覧 [議案33件、承認1件(1月~3月)]

議案	田山 幸平	吉田 精一	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	味岡 恭	倉本 豊	山下 力	金子 光喜	審議結果 (賛成：反対)
湯前町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決(8：1)
令和8年度特別会計	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	可決(8：0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)

○：賛成 ×：反対 -：採決なし(議長は採決に加わりません)

議案審議 賛否一覧

一般質問

2人が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
田山 幸平	①子どものスポーツ遠征費支援	12
椎葉 弘樹	①公共施設の利便性向上と持続可能な運営	13

特別企画 前回一般質問 YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議員名	12月一般質問
西 靖邦	1297
椎葉 弘樹	144
倉本 豊	72
遠坂 道太	71

(令和8年3月31日時点でのアクセス数)

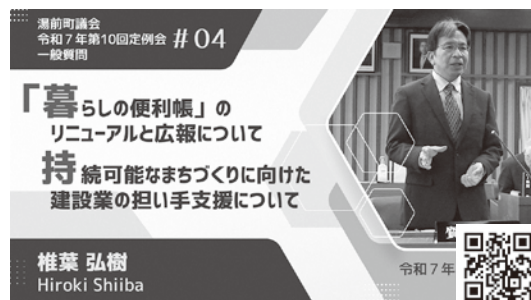
一般質問の YouTube動画配信

一般質問は、YouTubeで動画配信を行っています。この動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。「いいね」や「チャンネル登録」をよろしくお願いします。



© YouTube 動画(「湯前町オフィシャル」で検索)

前回一般質問のYouTubeサムネイル





田山 幸平 議員

子どものスポーツ 遠征費支援

現状を維持

問

議員 現行制度を検証し、遠方開催時の支援の在り方を見直す考えはないか。

課長 現行制度は、令和元年に補助金制度から改正したもので、申請者の提出資料を簡素化し、実施後の精算払いから事前交付を可能とするものであった。また、現行制度は、全国大会などへの出場の

答

教育長 全国大会ともなると必要経費も高額となり、ご家庭のご負担も増えることは十分承知をしているが、本制度の趣旨をご理解いただき、町としては、精一杯の激励の思いを込めて、現状を維持していきたいと考えている。現段階での制度の拡充や補助金制度を見直すといった考えはない。

町長 経緯として、議会からの質疑・指摘があり、その都度内容の精査を行いながら、現状の制度設計になっている。要綱の改正にあたり、各町村の実態も調査済みである。奨励金は補助金と違い、激励をするための制度と判断している。また、補助金等見直し



質問の様子は
こちら

のガイドラインがあり、任意的な補助金は2分の1という考え方のもとにもなっている。議員 支援の拡充の財源として、ふるさと納税を活用する考えはないか。

課長 できるだけ広く、町民や町全体の施策に柔軟に活用できる形を維持することが重要だと考えている。

町長 ふるさと納税は、子育て支援や教育、福祉、地域振興など幅広い施策に活用していく考えであり、町としては、子どもの健全育成のため、強弱をつけてさまざまな予算を措置し、支援していく考えである。

現時点では、奨励金事業などのスポーツ振興関係を基金条例上の個別の対象事業として新たに位置付ける考えはない。

議員のつぶやき

子どもたちが大きな舞台へ挑戦できるよう、現場の声に耳を傾けながら支援を考えていきたい。

全国スポーツ大会等出場奨励金のしくみ

目的 スポーツ振興・文化芸術活動の推進

対象者



町内住所者。
予選通過・標準記録達成・推薦や選考で大会参加資格を得た子ども

対象大会

- 県大会
- 九州大会
- 全国大会等
- ✕ 対象外
自主参加大会
親睦目的など

一人当たり奨励金
(基本額)

- 県内 3,000円
- 九州管内 1万円
- 九州管外 2万円
- 日本国外 3万円

小中学生上乗せ

- 小中学生限定
(九州管外)
- ・関東地域以南 +2万円
 - ・北海道・東北・北陸 +3万円

問 公共施設の利便性向上と持続可能な運営

答 DX推進と使用料の見直しを検討

議員 公共施設のオンライン予約システムを導入し、市民の利便性向上と職員の事務負担軽減を図る考えはあるか。

課長 現行の施設予約の対応は、一定の改善余地がある。予約状況の確認サイトは、更新できていない。本来、デモ期間の終了後に閉じるべきシステムであったが、現在も一部施設で予約登録を続けている。



椎葉 弘樹 議員



質問の様子は
こちら

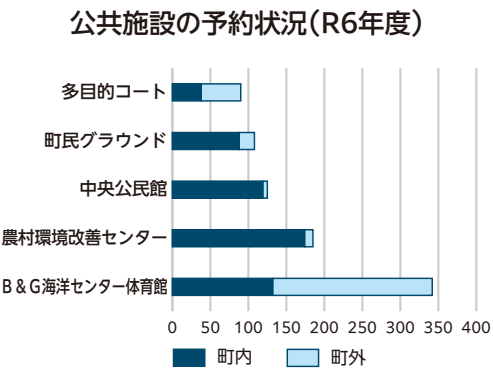
議員 公共施設の持続可能な運営を図るため、受益者負担の原則に基づく使用料の適正化と周知を進める考えはあるか。

課長 使用料はホームページなどで容易に確認できないため、早急に対応したい。まんが美術館と学校体育施設も周知が不十分である。

体育施設の使用料は、町内外同額で30年以上据え置かれている。その政策的背景は、

教育長 財政面も踏まえ、今後検討を進める必要がある。

町長 DX交付金の活用も含めて調査したい。若年層利用の多いスポーツ施設は早期に対応し、高齢者利用の多い施設は実態を見据えて、利用促進に取り組んでいきたい。



教育長 維持管理コストの上昇を踏まえると一定の整理は必要だが、利用者への影響や近隣自治体の動向、利用実態を総合的に勘案しながら進めるべき課題。今後、算定ルールの整理を検討する。関係者の意見も踏まえ対応したい。

町長 まんが図書館の無料措置も含めて検討する必要がある。

スポーツを通じた広域的な交流促進と地域活性化を重視してきたと推察される。この間、物価やエネルギーコスト、人件費など大きく変動しているが、客観的な検証は行っていない。

公共施設 使用時の課題と対策

【対象施設】中央公民館／農村環境改善センター／B&G海洋センター／町民グラウンド



オンライン予約システムの導入

- ◎いつでも(24時間受付)
- ◎どこでも(スマホ・PC)
- ◎だれでも(町内・町外問わず)
- ◎業務改善

使用料の見直し

- ◎消費税の要否検討
- ◎使用料の算定ルール
- ◎「町外利用者」向け料金の導入検討(公共施設と税負担の公平性)

議員のつぶやき

施設のDX化で利便性を高め、30年据え置きの使用料を見直し、将来世代へ繋ぐ持続可能な施設運営を期待する。

議員派遣

人口減少に適応するまちへ

熊本県町村議会議員研修(オンライン)

演題 「地方創生のゆくえと議会の役割」

講師 ジャーナリスト 青山 彰久 氏

1月20日に開催された本研修では、これまでの国主導による地方創生の流れを振り返り、今後の持続可能なまちづくりの考え方を学びました。

1. 人口減少への向き合い方

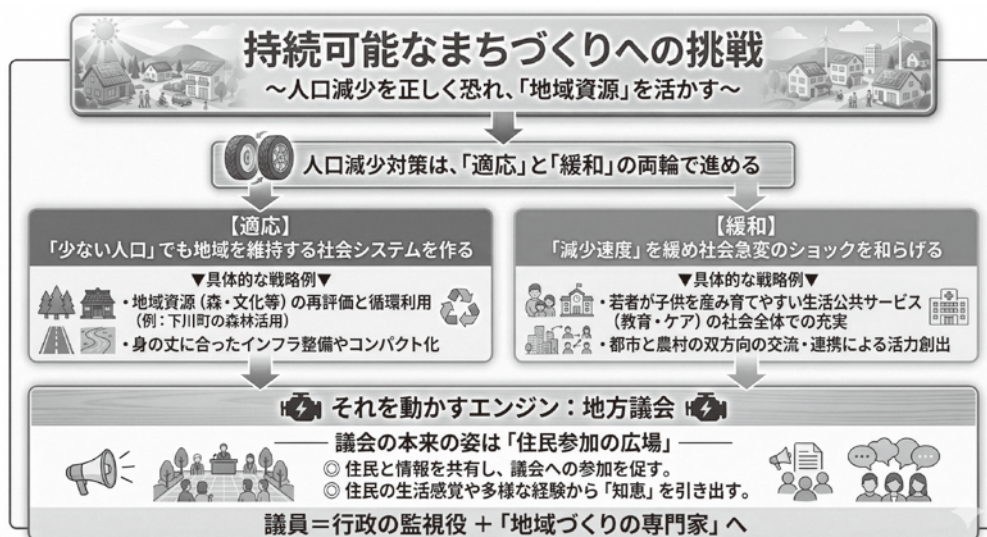
人口減少を無理に止めようとするのではなく、少ない人口でも成り立つ社会にしていく「適応」と、減少のスピードを緩やかにする「緩和」の考え方が重要とされました。また、都市のまねをするのではなく、地域にある自然や文化などの資源を最大限に活かす視点が求められます。

2. 地方議会の役割

地方議会は「住民参加の場」であり、議員は住民の上に立つ存在ではありません。住民と情報を共有し、その知恵を引き出しながら、共に地域づくりを進めていくことが重要とされました。

これらを踏まえ、これまでの地方創生と、講師が提案する今後の地域づくりの違いを以下に示します。

項目	従来の地方創生	今後の地域づくり
目標	人口減少を「止める」	人口減少に「適応」・「緩和」
思想	「地方」：中央への従属、都市への集中	「地域」：自治と文化の独立、等身大
手法	国主導、KPI(数値)目標、ノウハウ	地域主導、資源循環(下川町事例)
役割分担	基礎自治体が何でも抱える	広域(県)と基礎(町)の機能別連携
議会	行政の監視(対立)	住民参加の広場(協働)
議員像	素人(職員が専門家)	地域づくりの専門家(生活感覚)



委員会

企画経済建設常任委員会

2月17日、3月9日

次の所管事務を調査しました。

- ◎空き家の現状と対策
- ◎今後の調査事項

委員長	西 靖邦
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、味岡 恭、椎葉 弘樹

町内208棟の空き家
増加する空き家と対策の方向性

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家は208棟(令和5年度)と増加 ※平成26年度：178棟 ・ 老朽化した空き家(評価C・D)が増加
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 空き家バンク：空き家の売却・賃貸を希望する所有者と利用希望者をマッチングする制度で、これまでに28件の成約実績 ▶ 空き家対策セミナー：所有者向けに開催し、相続・管理・売買などの知識向上を図るとともに、個別相談にも対応 ▶ リフォーム・解体補助：空き家の改修や解体に対する支援を実施し、利活用や適正管理を促進 ▶ 0円古民家プロジェクト：古民家を無償で譲渡し、地域資源として活用する新たな取組
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家バンクに登録する物件数が不足 ・ 相続・登記の未整理が多い ・ 個別相談体制の強化 ・ 管理不全や利活用の遅れが課題
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 空き家バンクの充実：物件情報の充実や価格の見える化を推進 ▶ 相談体制の強化：空き家に関する常設相談窓口の設置 ▶ 関係機関との連携：宅建協会や古民家再生協会と連携し、流通・活用を促進 ▶ 啓発の強化：対象者に応じたセミナー開催や情報発信

■評価ランク別空き家数(評価はA(良好)～D(老朽・危険)の4段階)

区 分	A	B	C	D	計
平成26年度	33棟	65棟	72棟	8棟	178棟
令和5年度	20棟	81棟	80棟	27棟	208棟

総務厚生文教常任委員会

2月17日、3月9日

委員長	遠坂 道太
副委員長	田山 幸平
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

- ◎中学校部活活動の現状
- ◎今後の調査事項

現状と今後の在り方を調査

地域移行を見据え、持続可能な活動環境の整備へ

令和7年度の湯前中学校の部活動加入率は59%で、地域クラブ活動に参加する生徒もいます。部活動の地域移行は、人吉球磨管内の市町村や先行地域の取り組みを参考に進めています。学校と地域が連携し、持続可能な活動環境を整えるとともに、部活動地域移行検討委員会で子どもたちにとって望ましい部活動の在り方を引き続き協議していきます。課題として、総合型地域スポーツクラブとの連携のほか、指導者や活動場所の確保、活動費用などがあります。※「地域クラブ活動」の詳細は、右下の解説動画をチェック！

令和7年度 中学校部活動加入状況(単位：人)

中学校生徒数：98名 加入率：59%

区分(種目)	令和7年度	指導教職員数	外部指導者数
野球部	4	1	0
陸上部	15	2	1
ソフトテニス部	17	2	1
柔道部	6	2	1
吹奏楽部	16	2	0
合計	58	9	3

令和7年度 中学校生徒の地域クラブ活動加入状況(単位：人)

区分(種目)	令和7年度
野 球	8
陸 上	2
ソフトテニス	18
柔 道	6
空 手	6
合計	40

(注)上表と下表の加入者数は、重複あり。

教えてゆっくん

地域クラブ活動って何？

少子化や教員の負担軽減を目的に、部活動を学校主体から地域の運営主体へ移行する取り組みのことだよ。



解説動画はこちら



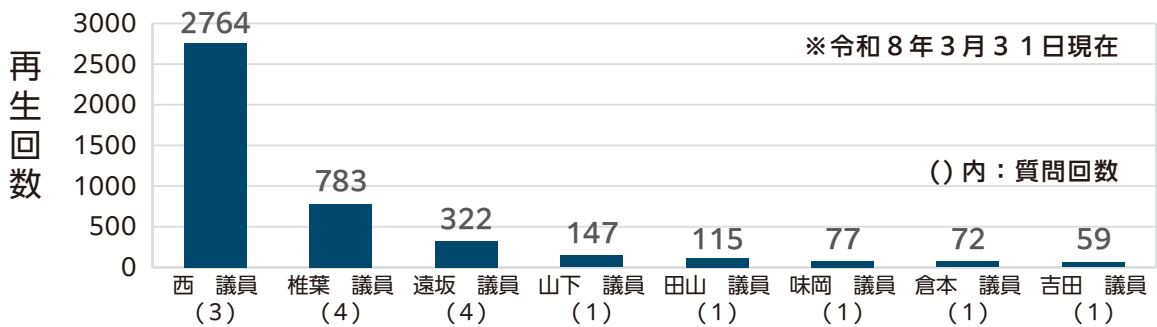
議会の窓

議長の窓

一般質問のYouTube視聴ランキング

令和7年度も、西 靖邦議員が2位以下を大きく引き離して1位となりました。これまでもほぼ同じ傾向で、西議員本人も「人気によるものか、内容によるものか、理由は分析できていない」とのことです。とはいえ、視聴数の多さは関心の高さの表れといえます。年4回の定例会で認められた「議員の檜舞台」。多くの方々に見てもらうことの緊張感はありますが、励みにもなります。QRコードの活用なども含め、周知に力を入れていきたいと思えます。まずは一度、ご覧ください。

令和7年湯前町議会一般質問 YouTube 視聴回数ランキング



議会事務局の窓

新任あいさつ





4月から議会事務局に配属されました橋本千晴です。役場勤続13年目になります。これまでの経験を活かし、議会の業務が円滑に進むよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

主な議会スケジュール【3月14日～6月16日】

活動内容	日程(予定)	対応者
郡議長会	3/24 4/27 5/14	金子
議会全員協議会	3/25 4/24 5/25	全議員
上球磨正副議長会	3/26	金子、椎葉
関東地区湯前ふるさと会総会	3/28 東京都	田山
三市町村議会国道整備促進合同協議会委員長会	4/8 西米良村	西
県議長会要望活動	4/21	金子
臨時会	4/24	全議員
議長研修会	5/15	金子
三市町村議会国道整備促進合同協議会国道219号現地調査	5/18 西米良村、西都市	金子、吉田、西、椎葉、味岡、倉本
関西地区湯前ふるさと会総会	5/23 大阪府	西
全国町村議会正副議長研修会 正副議長による県選出国會議員への要望	5/26～27	金子、椎葉
定例会	6/10～16	全議員

一部事務組合

近隣自治体と支え合う「広域行政」の予算
令和8年度 病院・消防などへの町負担金決まる

一部事務組合	公立多良木病院企業団	人吉球磨広域行政組合	上球磨消防組合
			
予算初	53億1085万円 (49億9941万円)	20億5993万円 (19億3602万円)	9億3100万円 (8億6400万円)
湯前町負担金	1389万円 (1378万円)	7947万円 (7443万円)	1億4667万円 (1億2027万円)

※()内の金額:令和7年度予算

上球磨消防組合議会

湯前町出動件数
令和7年度の出動状況

区分	総件数	湯前町件数
火災	11件	4件
救急	1827件	219件

<消防議員 倉本>

人吉球磨広域行政組合議会

議会構成を一部変更

1月25日に執行された「球磨村議会議員一般選挙」の結果を受け、当組合の議会構成が一部変更となりました。

役職	議会	指名
議長	あさぎり町	山口 和幸 議員
新ごみ処理施設建設に関する特別委員会：委員長 ：副委員長	人吉市	西 新八郎 議員
	湯前町	遠坂 道太 議員

<広域行政議員 遠坂・田山>

年4回にわたりテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。

テーマ

身近で読みやすい議会だよりには？



なえとこ ふうか
苗床 楓花 さん
(野中田 2)

議会だよりは毎回ではないですが、時々読んでいます。学校や子育て支援、若者向けの取り組み、町のイベントなど、自分たちの生活に近い話題が載っていると関心を持ちやすいです。文字が多いと少し堅く感じるのですが、マンガやイラストで分かりやすくなると読みやすいと思います。紙の広報誌も見ますが、SNSでも情報発信があると、もっと気軽に議会のことを知れると感じました。



のだ ともひろ
野田 智央 さん
(馬場)

議会だよりは見たことはありますが、普段は読む機会がありません。手に取るタイミングが少ないのと、忙しくて後回しになってしまうことが多いです。ただ、町のイベントや地域の話などが載っていると興味湧くと思います。写真やイラストが多いと見やすくなりそうですし、難しい言葉を減らしたり、若者向けの特集や議員の人柄が分かる内容があったりすると、もう少し身近に感じられる気がします。



議会も挑戦中！ 今号からショート動画の配信を始めました！（2ページの特集1をチェック）

「住民の声」のインタビューをお願いされたときは、ご協力をお願いします。TEL 0966-43-4132

『議員・風刺や時代を読む』

漫画作品と議会のコラボ企画

この企画は、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画や時代を描写した風景画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。



「物価高って大変！！」宮原 詩寧さん(山中2年(当時))

令和6年度まんが大賞応募作品から

- ▶物価高の時代を見事に表現した作品です。
- ▶令和3年ごろから続く物価高に対し、一部で賃上げも見られますが、私たちの「手取り」は依然として厳しい状況です。私が生まれた昭和44年には約76%あった可処分所得は、現在では約54%まで減少しています。収入の約半分が税や社会保険料として差し引かれているのが現状です。
- ▶手取りの減少は地域消費の冷え込みを招き、町の税収減にもつながります。物価高への対策として、実質的な「手取り」を増やし、電気代や燃料費などのエネルギーコストを抑えることが重要と考えられます。

(椎葉)



◆ 広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長 田山 幸平
副委員長 椎葉 弘樹

委員 遠坂 道太
西 靖邦
吉田 精二

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

